



ナルspan[®]テープを使用される 患者さんにご家族の方へ

使用を開始する前に、必ずお読みください。
このテープは、処方された患者さん以外は、
絶対に使用しないでください。

ノルスパン[®]テープを使用される 患者さんをご家族の方へ



目次

- 1.テープの働き……………P3・4
- 2.テープを使う前に医師や薬剤師に伝えて欲しいこと…P5・6
- 3.使用中の注意……………P7・8
- 4.副作用・その他の注意……………P9・10
- 5.使用方法についての注意……………P11・12
- 6.使用方法……………P13・14
- 7.保管するときの注意……………P15
- 8.捨て方……………P16
- 9.Q&A……………P17・18

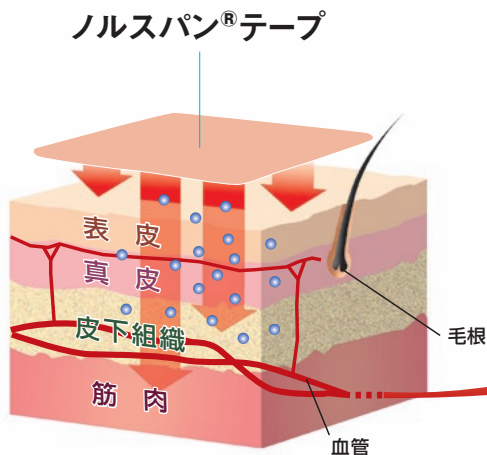


1. テープ

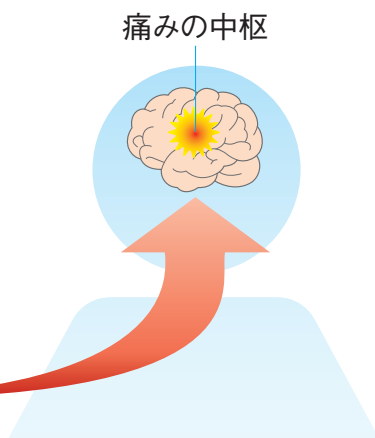
このテープは、強い痛みを和らげるための貼り薬です。

お薬の成分は、皮膚から体内に少しずつ吸収され、血液の流れに乗って脳の痛みの中枢に働いて効果をもたらします。**痛いところに貼れば効きめが強くなるというわけではありません。**

●成分が体内に吸収される様子(模式図)



●作用のイメージ

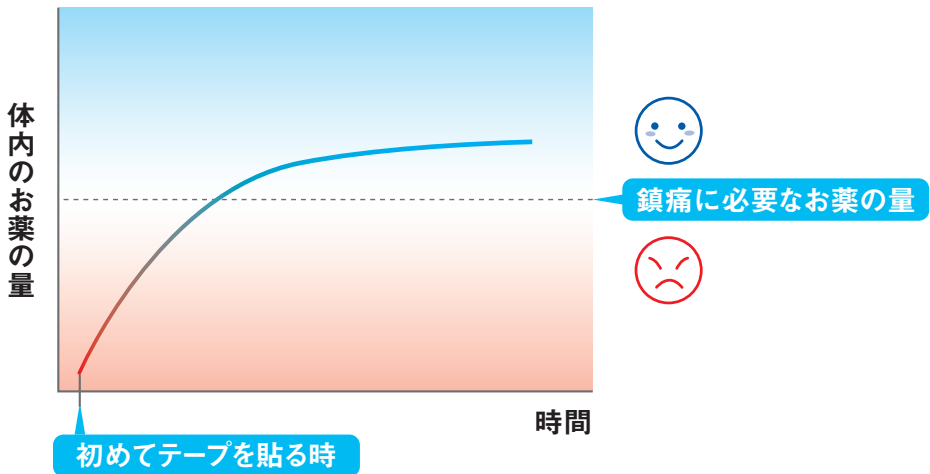


効果は、**7日間**持続しますので、**7日**ごとに貼り替えてください。

の働き

このテープは、有効な成分が皮膚から体の中にゆっくり吸収される仕組みのため、初めて使用するときや量を増やしたときにすぐに効果が現れないことがあります。

●初めてテープを貼った時の体内のお薬の量



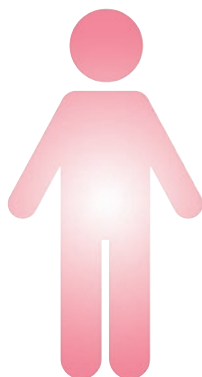
ご自身の判断で貼る枚数を増やすことや、定められた日時以外に貼り替えることはしないでください。

2.テープを使う前に医師や

次のようなことがあれば、担当の医師や薬剤師に伝えてください。

● **高度の発熱がある。**

——体の中に吸収されるお薬の量が増える可能性があります。



● **妊娠している、または妊娠している可能性がある。**

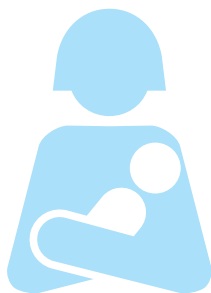
——胎児に影響を与える可能性があります。



薬剤師に伝えて欲しいこと

●母乳を与えている。

——母乳を通じて、赤ちゃんに影響を与える可能性があります。



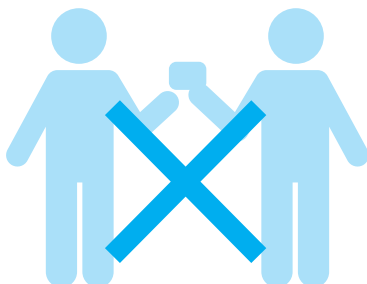
●ほかに使用しているお薬がある。

——このテープ、あるいはほかに使用しているお薬の効果が強くなったり弱くなったりする可能性があります。市販のお薬も含めて、使用しているお薬があれば、担当の医師や薬剤師にすべて伝えてください。



3.使用中

- このテープは処方された患者さん本人以外は絶対に使用しないでください。他人や家族に譲ってはいけません。
——たとえ症状が同じようにみえても、このテープの使用が適切とは限りません。



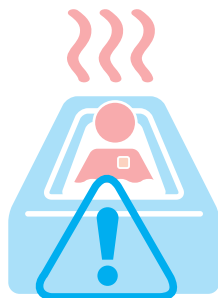
- テープを貼っている場所を熱源(電気パッド、電気毛布、加温ウォーターベッド、赤外線灯、集中的な日光浴、サウナ、湯たんぽ等)に近づけないでください。また外出のときもできる限り直射日光がテープに当たらないように注意してください。
——体の中に吸収されるお薬の量が過剰になる可能性があります。



の注意

- **熱いお湯で入浴することあるいは長時間入浴することは控えてください。**

——テープを貼ったまま、シャワーを浴びる、入浴する、泳ぐことが可能ですが、熱い温度あるいは長時間の入浴により、体の中に吸収されるお薬の量が過剰になる可能性があります。



- **車の運転や危険な機械の操作を避けてください。**

——予期しない出来事に、適切にあるいは迅速に対処できなくなる可能性があります。



- **飲酒を控えてください。**

——体の中に吸収されたお薬とお酒が互いに影響し、呼吸抑制などお薬の副作用がでやすくなる可能性があります。



- **MRI(核磁気共鳴画像法)による検査を実施する場合には、火傷を起こす可能性があるためテープをはがしてください。**

- **テープが他の人に誤って貼り付かないよう注意してください。**

——お子様と添い寝をした際などに誤って貼り付くと、お子様に影響が出る可能性があります。

——テープの他者への付着に気づいた時は、すぐにテープをはがし、付着部位を水で洗い流し、異常が現れた場合には受診してください。

4. 副作用・そ

●吐き気が出たり、眠くなったりすることがあります。

——吐き気や眠気は、テープを使い始めた時やお薬の量を増やした時に現れやすいです。吐き気が出る場合は、吐き気をおさえるお薬もありますので、担当の医師や薬剤師、看護師と相談してください。



●便秘になることがあります。

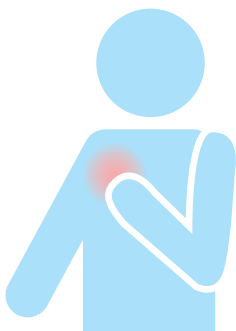
——テープの使用中は普段より便秘になりやすくなります。野菜などの食物繊維の多い食べ物をとったり、水分を多めにとったりしてください。便秘の症状が強い場合には、便秘を緩和するお薬もありますので、担当の医師や薬剤師、看護師と相談してください。



その他の注意

- テープを貼っているところが赤くなったり、かゆくなったりすることがあります。

—貼る部位を毎回変えても症状が治まらないときは、担当の医師や薬剤師、看護師と相談してください。ご自身の判断でかゆみ止めの塗り薬を使わないでください。



- 次のような症状が現れた時には、すぐにテープをはがし、医師あるいは病院に連絡してください。

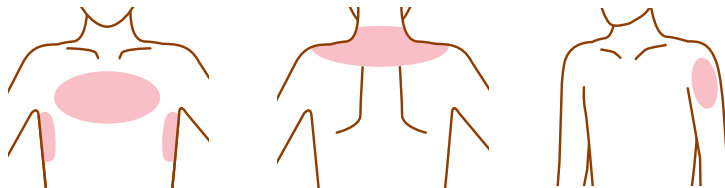
呼吸が、遅くなる、浅くなる、苦しくなる 等
まぶたや顔、唇が腫れる 等
全身のかゆみや発疹 等

その他にも、何かいつもと違うことに気づいた時は、担当の医師や薬剤師と相談してください。

5.使用方法に

- 患者さん本人以外は絶対に使用しないでください。
- 他人や家族に譲ってはいけません。
- テープが他の人に誤って貼り付かないように注意してください。
- 7日ごとに貼り替えて使用してください。
- 必ず担当の医師または薬剤師の指示に従って使用してください。
- 担当の医師の指示なしに使用量(貼る枚数)を変更することは絶対にしないでください。
- このテープをハサミ等で切って使用しないでください。
- 傷口や湿疹等のあるところには貼らないでください。
- 何か異常が認められた場合には担当の医師または、薬剤師に相談してください。

お薬を貼る前に



- テープを貼る部位を決めます。前胸部、側胸部、上背部、上腕外部以外に貼らないでください。(膝や腰に貼らないでください。)
- 貼る部位は毎回かえてください。同じ部位に貼る場合は3週間以上の間隔をあけてください。
- あらかじめ貼る部位を乾いたタオルなどでよく拭いて、水分や汗をよく取り除いてください。
このとき石けん、アルコール、ローション等は使用しないでください。(お薬の有効成分の皮膚からの吸収に影響することがあります。)
- なるべく体毛のないところに貼ってください。体毛が濃い場合は、カミソリを使わずハサミで短くカットしてください。

についての注意

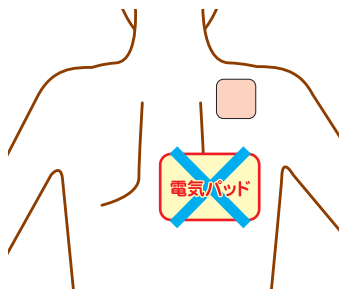
●入浴するときには

—お薬を貼ったままで、ぬるめのお風呂に入ったり、ぬるめのシャワーを浴びたりすることができます。ただし、熱いお風呂に汗をかくほど長い時間の入浴はしないでください。また、テープは水が通りにくい材質のためはがれにくいですが、入浴後は念のためお薬がはがれていないか確認してください。

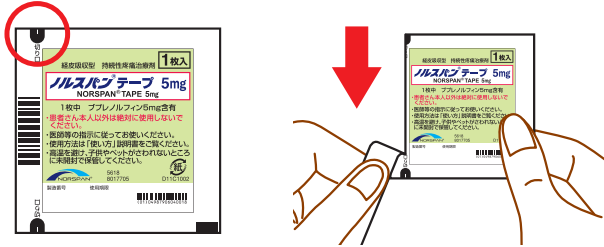


●電気パッドなどをご使用のときには

—貼付部位を電気パッドなどに近づけないようにしてください。



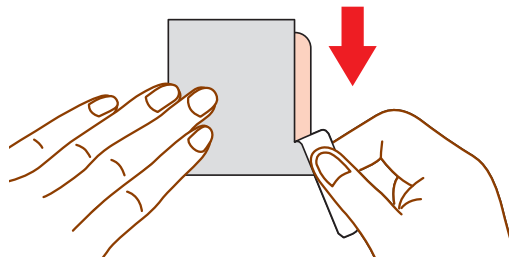
1 “切り口”と書いてあるところから手で切り取ってください。



2 開封口を広げてテープを取り出します。開封後は速やかに貼付してください。

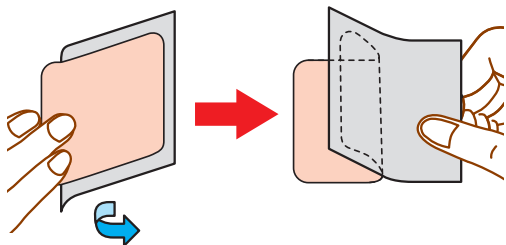


3 テープの粘着面には銀色のライナーが付いています。ライナーの小さい方を先にはがします。



方法

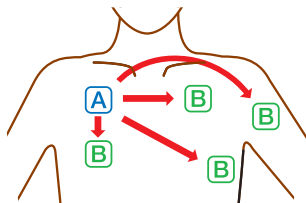
- 4** 先にライナーをはがしたところからテープを貼り、残りのライナーをはがして貼ってください。



- 5** テープを貼った後は、約30秒間手のひらでしっかり押さえ、テープの縁の部分が皮膚面に完全に接着するようにしてください。テープを貼った後は、水道水で手を洗ってください。



※テープを貼りかえる時には必ずちがう部位に貼ってください。テープが皮膚から一部はがれた場合は、再度手で押しつけるか、または皮膚用テープ等で剥離部を固定しますが、粘着力が弱くなった場合は、直ちに同量の新たなテープに貼りかえて7日間貼付してください。またその場合は、現在の貼付部位とは異なる部位に貼付してください。



7.保管するときの注意

未使用のテープは包装袋を開けずに保管してください。



直射日光を避けて、30℃を超えない場所に保管してください。



お子様やペットがさわれないところに保管してください。

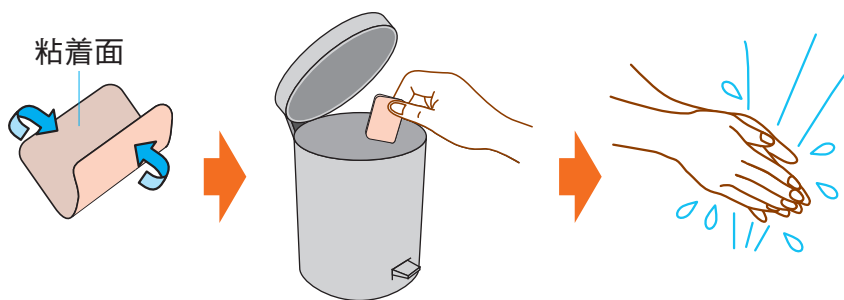


テープを、処方された患者さん以外の方が使用しないようにしてください。



8.捨て方

使用済みのテープは、粘着面を内側にしてふたつ折りにたたんだ後、捨ててください。テープを捨てた後、水道水で手を洗ってください。



余ったテープは使用済みのテープと同じように捨ててください。

使用済みであってもお薬が残っている可能性があるため、テープの粘着面に触れると体の中にお薬が吸収されてしまうことがあります。

自治体が指定する方法に従って廃棄してください。

- 【お薬の素材】
- ・テープ : PET
 - ・ライナー : PET
 - ・包装袋 : 紙、LDPE、アルミニウム、エチレン共重合体

Q1 痛くなくなったので、テープの使用をやめてよいですか？

A1 ご自身の判断でテープの使用をやめないでください。急に使用をやめると、汗を異常にかいたり、下痢が止まらなくなったり、眠れなくなったりすることがあります。使用するテープの量の調節については、必ず担当の医師に相談してください。



Q2 貼り替えるのを忘れたときはどのようにすればよいですか？

A2 貼り替えに気づいた場合は、できるだけすみやかに貼り替えを行ってください。貼り替え後、念のため、担当の医師、薬剤師あるいは看護師に連絡してください。



Q3 予定の日時よりも早く貼り替えてしまった場合はどのようにすればいいですか？

A3 そのままでかまいません。貼り替えた日時の7日後に、貼り替えてください。



Q4 7日間たないうちにはがれてしまったときはどうしたらよいでしょうか？

A4 テープが皮膚から一部剥離した場合は、再度手で押しつけるか、又は皮膚用テープ等で剥離部を固定します。粘着力が弱くなった場合は、直ちに同用量の新たなテープに貼り替えて7日間貼付してください。またその場合は、現在の貼付部位とは異なる部位に貼付してください。



Q5 余分に貼ってしまったのですが、どのようにすればよいですか？

A5 貼っているテープをすぐにはがして、担当の医師に連絡してください。



Q6 海外に行く時には何か条件はありますか？

A6 このテープには規制がありますので、担当の医師にご相談ください。

Q3~Q5

次回の診察までにテープの枚数が足りなくなる場合は、早めに受診して担当の医師に伝えてください。



